

観光地通訳ガイド 県立大生に委嘱

訪日客受け入れで県

後楽園の通訳スタッフ(右)からガイドの注意点を学ぶ学生



4年生。県の誘客事業に参加してガイドを担当するほか、SNS(交流サイト)を活用して県内観光地の情報を発信。外国人向けのPRグッズの開発も手掛ける。

この日、県庁で委嘱状交付式を終えた後、学生たちは岡山市の後楽園で初回の実務研修を受けた。園内の鶴鳴館や唯心山などを巡り、同園の通訳スタッフから園の歴史や外国人をガイドする上での注意点を学んだ。

県は13日、県立大(総社市窪木)の学生25人に「スチューデントアテンダント(学生通訳ガイド)」を委嘱した。新型コロナウイルスの

新型コロナウイルスの
水際対策で停止していた訪日客の受け入れ手続きが10日に再開されう。

ており、県内観光地でガイドに当たってもら
ており、県内観光地で
委嘱されたのは同大
で英語を使ったコミュ
ニケーションを学ぶ1

貴重な機会。岡山の魅も貢献したい」と話し力を伝え、観光振興にた。(大橋孝平)

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。